



縁

この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
平成30年度学校だよりNo.4
平成30年4月18日
文責 校長 吉尾直樹

春の暖かな一日、上級生の暖かな心に触れる一日でした 4月12日 歓迎行事・歓迎遠足

春の暖かな日差しの中、新入生を迎えての歓迎行事と部活動紹介、歓迎遠足が行われました。生徒会や各部活動では、新入生を楽しませようと、それぞれ工夫を凝らした内容でした。9日の入学式から緊張が続いた1年生も笑顔いっぱい参加し、上級生の暖かな心に触れた一日となりました。



私も新入生だったらどの部に入ろうかと悩んでしまいます。先輩たちとたくさんの思い出をこれからさらに作ってください。

また、歓迎遠足で行った大賀キャンプ場はとても眺めがよく、展望台からは壱岐がすぐ近くに見えました。さわやかな風の中で弁当もおいしかったと思います。

なお、この日の朝には学級委員の任命を行いました。中学校では、学級での学級委員や各行事での実行委員、生徒会など、さまざまな場面で生徒がリーダーとなる場を設定します。こうした経験を通して、リーダとなる経験、リーダーを支える経験をみんながすることで、互いを高める力を持ってほしいと思います。学級委員のみなさん、失敗を恐れず何事にもチャレンジしましょう。周りの人は必ずあなたを支えます。



学力向上のカギは、日々の授業と家庭学習の積み重ねです 4月17・18日 全国学力・学習状況調査 県学力調査

本日までの2日間、全国学力・学習状況調査(3年生)と県学力調査(2・3年生)が行われました。これは、前年度までの学習内容についての理解と論理的思考力とを問うものとなっています。2・3年生のみなさん、解けましたか。これらの結果については1学期後半から夏休みに届きますので、全国や平戸市の状況と比べながら、一人ひとりの学習支援につなげたいと考えます。特に3年生はさまざまな進路を考えていることでしょう。自分の力を伸ばす

ために、日々の授業とその定着のための家庭学習を続けることが大切です。長崎県の昨年度の調査では、家庭学習の時間が全国に比べて少なく、授業では分かったつもりでもしばらくたつと忘れてしまう、つまり定着に課題があるというデータがあります。今回の調査結果を踏まえ、何が必要かを保護者の皆様とともに考えたいと思います。

4月
5月

- 18日 授業参観・PTA総会
- 23～25日 家庭訪問
- 1日 小中合同運動会総練習
- 26～27日 市中総体球技・武道大会(22日、28日は振替休日)
- 19日 小中合同PTA懇親会
- 24日～ 小中合同運動会練習
- 13日 大島村ふれあい運動会



一つのご事に集中するというのいいのですが、どうしてもさまざまな活動が重なることが学校ではあります。前にお知らせしましたように、生徒には事前に予定をプリントで示し、先の見通しをもって主体的に取り組むようにしています。来週からは、その本番。保護者の皆様も予定表に目を通していただきますようお願いいたします。ふれあい運動会では、生徒たちの生き生きとした姿を、保護者や地域の皆様に見ていただきたいと思ひます。

「人生における究極の喜びとは、やるべきことをやり終えた時の快感である」

ウィリアム・ヘイズリット(作家/イギリス)

ヘイズリットはアメリカ独立戦争やナポレオンの戦いを独自の視点で作品にまとめた人物。彼は、自ら「これ!」と決めたことはどんな障害があろうと粘り強く取り組んだ。自らにやるべきことと課題を課して。5月はとても忙しい時期になります。やるべきことに追われるのではなく、自分から「やろう!」という強い思いをもって取り組みましょう。やり終えた時の達成感は必ず大きいものになります。